

きょうと地域連携交付金 自己評価調書（今年度分）

団体名： 長岡京市

（千円）

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)		事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
						交付金 充当額		
1	地域づくり連 携推進事業	防災	自主防災体制整 備事業	【事業の目的】 多発する集中豪雨や不測の災害などに対応するため、 防災リーダー等の育成など自主防災会等の組織化およ び「自助・共助」による防災意識の形成を図る。 【事業の内容】 「自助・共助」による防災力の更なる育成強化を図 り、「市民とともにつくる災害に強いまちづくり」を 推進するため、「地域づくり」「人づくり」「拠点づ くり」に関連する取組等に補助・支援する。	9,706	4,853	・助け合いとつながり事業：467千円 「多様な市民が考える場」での意見交流を実施 ・自主防災組織等育成補助金：835千円 出前講座等による防災知識の普及啓発など ・東部地区防災拠点整備事業：8,404千円 地域住民などとの現況把握、基本方針等の検討 など	避難情報発令時においても、実際の避難行 動につながらない現状がある中、自身が住 むエリアに避難可能な施設の整備・検討段 階から地域住民が関わることで、自主防災 組織の組織化など、防災意識の底上げ（自 助）と連帯意識の醸成（共助）につながっ た。
2	地域づくり連 携推進事業	子育て応 援	民間保育所等環 境充実事業	【事業の目的】 保育施設でおむつ処分を行い、その処分費用および給 食に係る費用の急騰分を保育施設へ補助することで、 保護者負担の軽減および衛生管理の向上を図る。 【事業の内容】 ①おむつ処分費等補助事業 おむつ等処分費用について補助を行う。 ②給食費補助事業 エネルギー価格高騰など食材費等の急騰があっても、 直ちに保護者負担金等に転嫁することなく、給食内容 を維持・向上させることを目的に補助を行う。	9,408	4,704	民間保育所等への保育所運営補助金に、今年度 より①②事業の補助を追加。 ①500円×乳児752人×12カ月＝4,512千円 ②500円×幼児816人×12カ月＝4,896千円	公立保育所においては平成31年度より、お むつ処分および主食提供を開始し好評で あった。民間保育所等でも同様に取り組ん でいたが、取り扱いに差があったため、今 年度より補助金を交付することで、公立保 育所と同等以上の保育環境を提供できた。 また、保護者の負担軽減だけでなく、保育 施設でおむつ等処分を行うことで衛生環境 の向上と保育士の負担軽減、さらに食材費 が急騰する中でも給食内容を維持でき、子 どもの健やかな成長に寄与した。
3	地域づくり連 携推進事業	子育て応 援	保健保育体制等 充実事業	【事業の目的】 発達支援保育対象児童の低年齢化や増加（特に多動傾 向の児童）、医療的ケア児の入所が増加するなど、安全 安心な集団生活の維持および児童の個々の能力を引き 出す保育をするため、保育所配置基準外である看護 師の配置を推進する。 【事業の内容】 看護師配置は、国の運営基準以上の保育サービスであ り、保育所等が実費費用として保護者へ請求できると ころであるが、保護者への追加の経済的負担を求め ず、民間保育所等の看護師配置に対して補助を行う。	21,431	10,715	これまでも民間保育所等への保育所運営補助金 の対象であったが、看護師確保のため今年度より 補助額を増額。 民間保育所等補助：11,055千円 公立保育所人件費：10,376千円	公立保育所だけでなく民間保育所等でも看 護師を配置することで、保護者の経済的負 担なしで、これまで以上に安全に、そして 保護者も安心できる保育環境の構築に寄与 した。 特に、今年度より看護師確保を目的に補助 金を増額したことが奏功し、看護師配置を 予定していた施設が、前年度より2施設増 加するなど、市全体の子育て環境の向上に 寄与した。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
4	地域づくり連 携推進事業	環境	地球温暖化対策 (COOL CHOICE) 推進事業	【事業の目的】 2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、気候変動の緩和策として省エネの推進と再エネの普及を行うとともに、適応策として市民へ啓発する。 【事業の内容】 地球温暖化の防止と暮らしやすさを両立する賢い選択「COOL CHOICE」を実践する者に対して、その実際に要した経費の一部を補助する。	8,015	4,007	補助実績額等 ①薪ストーブ設置補助（300千円：3件） 補助率1/2、補助金上限100千円 ②住宅窓断熱改修補助（615千円：16件） 補助率1/10、補助金上限50千円 ③次世代自動車導入補助（6,500千円：65件） 定額100千円 ④家庭用燃料電池システム設置補助 （600千円：12件） 定額50千円	令和4年度に京都府下では初となる家庭用燃料電池システム設置補助を創設し好評だったため、今年度に予算上限を引き上げた。その今年度当初予算額は、2,600千円であったが、最終補助総額は8,015千円と想定を上回る申請があり、2050年ゼロカーボンシティの実現に寄与した。
5	地域づくり連 携推進事業	文化振興	長岡京市歴史文 化めぐる。 7つのものがた り事業	【事業の目的】 文化庁の京都移転を契機とし、文化財を活用したまちづくりを進め、「7つのものがたり未来プロジェク ト」として、次世代を担う子どもたちへ歴史文化の魅力を継承する。 【事業の内容】 「長岡京市文化財保存活用推進会議」を始動させ「長岡京7つのものがたり学習帖」などを活用した普及啓 発事業を展開し、歴史文化発信拠点となる長岡京市ふ るさと資料館の整備に係る検討を開始する。	9,979	654	①事業実施主体である長岡京市文化財保存活用 推進会議へ、以下の事業について市が負担金とし て9,000千円を支出。 ・「長岡京7つのものがたり学習帖」作成 （ワークショップを通じ作成。市内小学校に配 布、出前授業等で活用。） ・ワークショップ講師・協力者等謝礼（府立大 学生などとのワークショップ） ・講演会関連経費（文化庁京都移転および文化 観光の観点から講演会を実施） ②長岡京市ふるさと資料館調査検討 歴史文化発信拠点の設計等業務として979千 円を支出。	「長岡京7つのものがたり学習帖」を作成 し、市内小学校に配布、出前授業等で活用 するなど、次世代を担う子どもたちへ歴史 文化の魅力継承につながった。 また、市役所新庁舎完成以降、めぐる事業 （市内周遊）を行うにあたり必要となる文 化発信拠点を、新庁舎に設置することとし 、その設計業務委託を通じさらに検討を 重ねるなど、長岡京市ふるさと資料館の実 現に寄与した。
6	地域づくり連 携推進事業	交流と連 携	持続可能な地域 公共交通実現事 業	【事業の目的】 自動車優先のまちから徒歩、自転車、公共交通中心の まちへの転換、また、免許の返納が推奨される高齢者 を中心に、積極的に公共交通への転換を推進している ところであるが、路線バス事業者の収支状況は悪化し ており、更なる利用促進策などの財政支援で、公共交 通を維持する。 【事業の内容】 持続可能な地域公共交通を実現させるため、今年度 においては、これまでの公共交通利用支援に関連する事 業などを再検討し、新たな地域公共交通のマスターブ ランとして法に基づく地域公共交通計画を策定する。	17,019	8,509	①公共交通利用支援事業：9,594千円 ・高齢者運転免許証自主返納支援事業補助： 1,993千円（高齢者の公共交通への利用転換の ため高齢者フリー定期券の購入補助） ・路線バス定期券等購入補助金：5,992千円 （通学定期券の購入補助） ・公共交通乗継事業補助金：1,609千円 （バスからタクシーへの乗継補助） ②地域公共交通計画策定業務：7,425千円 市民とのワークショップの開催・アンケートの 実施、交通事業者や活性化協議会などと意見交 換を行い計画を策定。	公共交通の利用促進補助事業により、免許 の返納が推奨される高齢者を中心に積極的 に公共交通への転換が図られ、「持続可能 な公共交通の実現」に寄与した。 また、自動車優先のまちから徒歩、自転 車、公共交通中心のまちへと転換していく ことにより、環境負荷の少ない健康で安全 なまち、車に依存しなくても暮らせるまち を実現するためのマスタープランである地 域公共交通計画を策定した。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
7	地域づくり連 携推進事業	交流と連 携	阪急長岡天神駅 西街区市街地整 備促進支援事業	【事業の目的】 交通結節機能の強化を図るため、阪急長岡天神駅の西 側に交通特性に応じた駅前広場を整備し、公共交通へ の利用転換を図る。 【事業の内容】 本市の「阪急長岡天神駅周辺整備基本計画」で示す土 地利用の実現に向け、地権者の意向を踏まえた土地区 画整理や市街地再開発による面的な整備計画の検討を 行う。	18,920	6,960	以下の実施内容にて、阪急長岡天神駅西街区市 街地整備促進支援事業業務委託料として18,920 千円を支出。 ①基本構想案の作成に向けた地元検討組織の運 営支援及び権利者説明会を開催（定例会4回、 説明会1回） ②基本構想案に対する権利者の個別意向調査 （累計50回） ③公共施設計画（案）の検討（基本計画図（素 案）の検討・作成） ④交通計画（案）の検討（交通調査など） ⑤換地計画の検討（過年度実施の施行前後総価 額算定の成果を基に、街区評価レベルでの検討 を継続。）	地権者の意向を踏まえた土地区画整理や市 街地再開発事業に向けた検討会を行い、事 業範囲や事業手法等に関する合意形成を図 るとともに、施設計画や事業性の深度化が 図られた。 長年の懸念事項である阪急長岡天神駅前の 交通面・安全面の課題解決に向け前進する とともに、来年度以降の準備組織の設立に つながるものであった。
8	地域づくり連 携推進事業	子育て環 境日本一	学校給食を通じ た食育推進事業	【事業の目的】 学校給食を通じた食育の充実と子育て世帯の保護者負 担軽減 【事業の内容】 市内全小・中学校で学校給食を実施し、栄養士の配置 によるきめ細やかな現場管理と地元農産物の利用など を通じて、より一層の食育の推進を図る。	293,584	15,346	以下の実施内容にて、市内公立小中学校（小学 校10校、中学校4校）の給食調理業務の委託料 として293,584千円を支出。 ・全14校に栄養士を配置することで、献立内容 の充実、アレルギー17品目対応。 ・調理くずをまとめてリサイクルし、肥料とし て学校内の畑で利用。 ・地元農産物による地元の伝統料理の提供。	学校給食を実施することで、食育の充実と 子育て世帯の保護者負担を軽減につながっ た。 また、栄養士の配置によるきめ細やかな現 場管理と地元農産物の利用などを通じて、 児童の心身の健康保持や食に関する興味関 心の向上に寄与した。
9	市町村間連携 推進事業		一過性に終わら ない大河ドラマ 関連事業	【事業の目的】 大河ドラマ「麒麟がくる」を契機とした、各分野にお ける活用施策を一過性に終わらず展開し、市の魅力 を発信することで、住民、観光客双方が満足できる持 続可能な観光誘客が展開でき、入込客数・観光消費額 の増加を図る。 【事業の内容】 長岡京ガラシャ祭りは、本市の歴史文化を発信する最 大のイベントであり、観光振興に貢献できるよう長岡 京ガラシャ祭実行委員会に対して支援を行う。また、 マスコミやインターネット等を通じて、全国に向かっ て、まちと祭の魅力発信を行う。	16,000	7,200	長岡京ガラシャ祭りは、今から440年前に長岡 京市内にある勝龍寺城に嫁いできた明智光秀の 娘「玉」、のちの細川ガラシャのお興入れ行列 を再現した市民主体で行われるお祭りである。 観光振興に貢献できるよう、ガラシャ祭開催経 費として、実行委員会に16,000千円を支出。 特に、今年度は第30回の記念祭であり、幼稚園 児によるコスチューム行列や子ども甲冑行列等 パレードを開催し、11月3日～12日を「ガラ シャウィーク」として歴史講演会など、祭りを 盛り上げるイベントを市内各所で実施。	令和2年に放送されたNHK大河ドラマ「麒 麟がくる」を契機とした、京都府内の連携 市町村が実施するイベントとの相乗効果に より、長期間かつ広範囲において、市の魅 力をPRすることができ、単独で実施するよ りも多くの観光客に対して市の魅力を伝え ることができている。 また、幼稚園児によるコスチューム行列や 子ども甲冑行列等の開催は、老若男女問わ ず参加されたことにより、魅力の発信だけ でなく文化継承にもつながった。
10	行政サービス 改革推進・ 小規模市町村 支援事業		登記課税連携シ ステム導入事業	【事業の目的】 正確な登記情報の反映及び業務効率化・コスト削減 【事業の内容】 税務課資産税係において、固定資産税の納税義務者の 確定や、課税客体の異動の捕捉等に必要、法務局か らの登記情報を電子データで受け取り、自動取込みを 可能とするシステムを導入するものである。	18,150	7,797	登記課税連携システム導入に18,150千円を支出 し、システムを導入した結果、以下の業務時間 （推計値）が削減された。 ・正確にデータ反映できるため、これまでの入 力に係る約1,000時間が削減されるとともに、 確認件数減により約300時間を削減。 ・不動産免許における登録免許税について、固 定資産評価証明書の提出が不要となり、200件 程度に係る所要時間、約50時間を削減。	LGWANネットワークを介して登記情報電子 データを取得し、システムに自動連携をさせ ることができれば、登記情報の入力誤り のリスクもなくなり、入力作業の時間も削 減できるため、国は市町村に対して登記情 報の電子データによる情報提供の実施を求 めていたところである。 本システムの導入により、90%程度の登記 情報はシステムに自動で連携することがで き、業務の正確性及び効率化に寄与した。